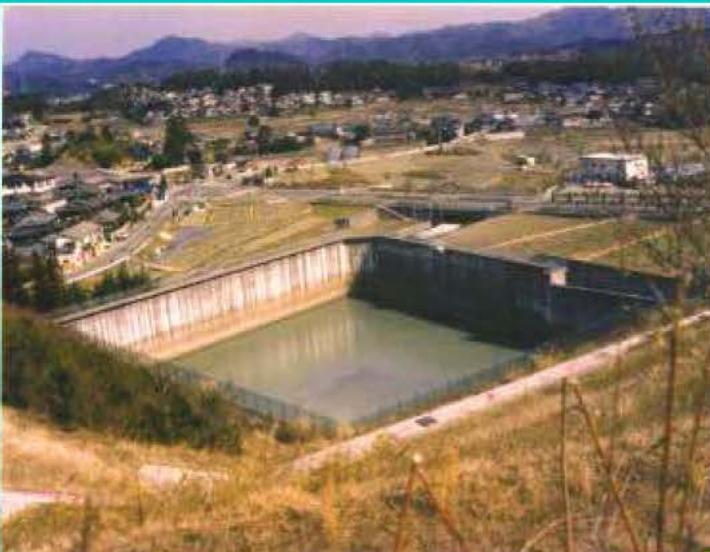
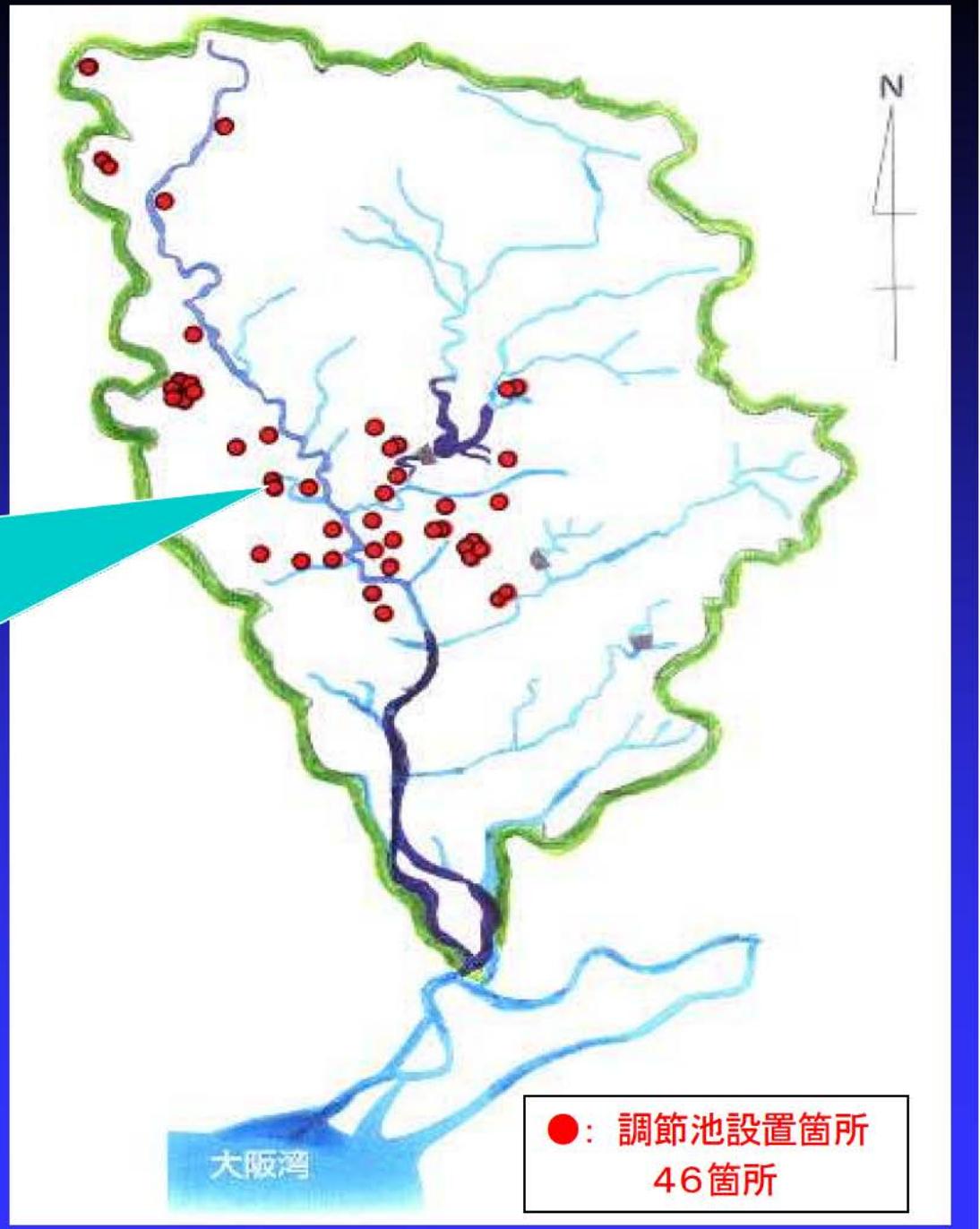


調節池設置状況



- ・現在、猪名川流域には集水面積1 ha以上の防災調節池が46箇所あります。
- ・小戸地点上流で、約5 8 万m³程度の調節池容量を確保しています。



各施設設置状況

ピロティ建築

(猪名川町・大陽猪名川自動車学校)

元々遊水機能を活かしつつ、建物をピロティ（高床式）に建築し、教室などは2・3階に設け、万一洪水がきても浸水被害を受けないようにしている。



透水性舗装

(伊丹市口酒井)

舗装を通して雨水を直接地面へ浸透させ、地中に還元させる。



各施設設置状況

雨水貯留・浸透施設

流域では、近年急激に都市化が進み将来とも都市の発展が予想されます。都市化に伴うアスファルトで地面が被覆されると雨水の地中への浸透が減少し表面流出量が増大します。その結果河川への流出量が増大し洪水による被害を大きくします。この様な状況を改善するため、猪名川総合治水対策の一環としてこの餃子の王将チェーン店敷地内には降った雨水を浸透させたり貯留したりする施設を設置し敷地外へ雨水を流さない様に工夫しています。

次の5タイプの貯留・浸透施設が設置されています。

- 下トレンチ
- 井戸
- 溝
- 外側
- アスファルト舗装

貯留浸透施設の設置効果

図解説：設置後、流出時間と流出量のピークを小さくします。

各施設設置状況



(4) 維持管理

河川構造物の維持管理

低水護岸等について、定期的に点検を行うことで損傷箇所を把握し、損傷状況に合わせて順次補修しています。



低水護岸の点検状況